

▼ 日本赤十字社「社紋」制定の決裁書



◀ 博愛社設立の許可書を受けたジェーンズ邸と史蹟（現日本赤十字社記念館）▼



▲ 西南戦争の救護で使用された“もっこ”



◀ 社員の締盟状



▲ 社員及び年拠出金額表



▲ 西南戦争を伝える新聞

5月 博愛社設立の願書を提出、許可を得る。ただちに西南戦争傷病者救護を開始

8月 博愛社、太政官の認可を得る
日本赤十字社のあゆみ

1877 明治10年



1878 明治11年

1879 明治12年

世界と日本の動き

- 1月 イギリス女王ヴィクトリア、インド皇帝に即位
- 2月 西郷隆盛が西南戦争を起こす



▲ 西南戦争の模様（左・右）



- 5月 紀尾井坂の変（大久保利通暗殺）
- 7月 ベルリン条約が締結

- 3月 南米、ペルー・ボリビアがチリに宣戦布告



▲初代総裁 小松宮彰仁親王



▲西南戦争救護の報告書

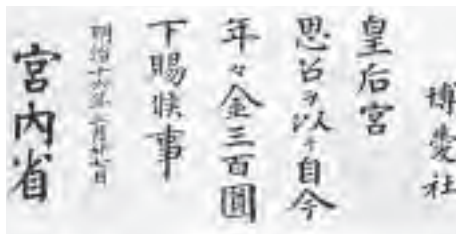


▲薬品使用報告書

1月 社員総会において改定博愛社規則書を発表する



▲肩章腕章



▲皇后陛下からの下賜

3月 皇后陛下より本年から年金300円下賜の恩命がある(当時の新聞は1部金2銭であった)

9月 第3回赤十字国際会議(ジュネーブ)に橋本綱常軍医監がオブザーバーとして出席

12月 赤十字条約加盟の建議書を政府へ提出する

日本赤十字社のあゆみ

1880 明治13年

世界と日本の動き

- 2月 奈良公園開園
- 6月 タヒチ島がフランスの領土となる
- 11月 第2回国会期成同盟大会が東京において開催される。憲法制定を求める

1881 明治14年

- 3月 ロマノフ朝第12代皇帝アレクサンドル2世が暗殺される
- 10月 国会開設の詔を出す
- 10月 板垣退助らが自由党をつくる

1882 明治15年

- 5月 嘉納治五郎により、柔道が創始される
- 10月 日本銀行が開業

1883 明治16年

- 7月 上野駅開業
- 8月 インドネシアのクラカタウ大噴火。36,417人の死者を出す
- 11月 鹿鳴館開館



▲鹿鳴館の様子

1884 明治17年

- 11月 アフリカ分割に関するベルリン列国会議(〜'85)
- 2月

1885 明治18年

- 4月 日本(伊藤博文)と清国(李鴻章)との間で天津条約が結ばれる
- 12月 内閣制度制定
- 12月 伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任



▲伊藤博文

1886 明治19年

- 6月 日本政府、ジュネーブ条約に加入公布は11月
- 10月 ノルマントン事件



▲ジュネーブ条約公布書



▲飯田町の博爱社と博爱社病院(「日本赤十字社歴史画談」より)



▼橋本綱常



▲病院規則



▲飯田町時代の本社



▲ジュネーブ条約加入についての政府から博爱社宛の通知書

11月 本社事務所・博爱社病院開院式挙行。院長橋本綱常

11月 政府は赤十字条約加盟の勅令を公布



▲日本赤十字社病院で活動する篤志看護婦人会



▲日本赤十字社山口支部

5月 第1回社員総会を開催。日本赤十字社と改称

6月 篤志看護婦人会を創設

7月 地方委員及び支部規則制定。2府1庁16県に委員部設置

9月 ジュネーブの赤十字国際委員会から国際赤十字への加盟を承認される

11月 第4回赤十字国際会議（ドイツ・カールスルーエ）に初めて日本赤十字社の代表が出席

日本赤十字社のあゆみ

1887 明治20年

1888 明治21年

1889 明治22年

世界と日本の動き

1月 東京に電灯がつく



▲文明開化

4月 市制・町村制公布

7月 磐梯山が噴火、発生した泥流により461人が犠牲となる



▲磐梯山噴火の図

2月 大日本帝国憲法公布

3月 エッフェル塔が建設される

7月 東海道線が全線開通する

7月 第2インターナショナル結成

12月 北里柴三郎が破傷風菌を発見し、血清療法を完成する



▲大日本帝国憲法公布



▲新橋駅



▲磐梯山噴火災害での救護活動



▲噴火直後の磐梯山麓



▲わが国最初の「看護婦養成規則」



▲篤志看護婦人会の包帯作り



▲神戸・和田岬の仮設病院に収容されたトルコ人



▲遭難したエルトゥール号



◀▲「看護学教程」



▲患者運搬法の実習（現在の東京都渋谷区広尾の日本赤十字看護大学周辺）



▲濃尾地震における京都支部仮設病院の患者たち



▲濃尾地震の救護活動



▲濃尾地震で被災者の診療活動にあたる救護員



▲日本赤十字社病院（現日本赤十字社医療センター）

4月 看護婦養成規則により生徒を10人募集。最初の本社救護員養成

5月 第3回内国勧業博覧会（上野）に初めて戦時天幕病院や救護材料等を出品する

9月 トルコ特派軍艦が紀州大島沖に沈没したため救護員を派遣
日本赤十字社のあゆみ

1890 明治23年

世界と日本の動き

7月 第1回衆議院議員総選挙

10月 教育勅語が発布

11月 第1回帝国議会開会

12月 日本で最初の電話交換が始まる



▲日本最初の電話交換室



▲第1回帝国議会の様子



▲最初の国会議事堂

5月 日本赤十字社病院が麹町区飯田町から、南豊島御料地（現在の東京都渋谷区広尾）に移転

10月 濃尾地震で被災した愛知・岐阜両県に救護員を派遣

12月 機関紙「日本赤十字」発行

6月 新築病院開院式を挙行政

1891 明治24年

1月 森鷗外が「舞姫」を発表

5月 大津事件

8月 露仏協商が締結される

10月 濃尾地震が発生。全壊消失14万2,000戸、死者数7,273人

1892 明治25年

2月 第2回衆議院議員総選挙

6月 スイスでブリエンツ・ロートホルン鉄道開通

1893 明治26年

7月 御木本幸吉、真珠の養殖に成功

7月 パークナム事件



▲日本赤十字社病院内で治療を受ける清国の傷兵



▲日清戦争での救護所



▲日清戦争での救護活動



▲三陸津波の被災者を看護する看護婦



◀三陸津波災害



▲日本赤十字社第8回社員総会（東京上野）

5月 飯田町六丁目に1,898坪を得て事務所を移転

8月 日清戦争において、戦時救護事業を実施
日本赤十字社のあゆみ

1894 明治27年

1895 明治28年

1896 明治29年

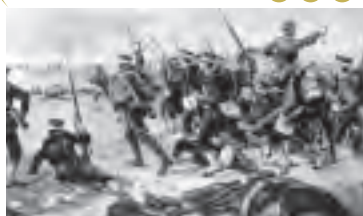
1897 明治30年

1898 明治31年

世界と日本の動き

7月 日清戦争（～'95）

7月 イギリスとの間に条約の改正。治外法権の撤廃（外務大臣 陸奥宗光）



▲日清戦争

1月 樋口一葉が「たけくらべ」を著す

4月 下関講和条約が結ばれる

4月 三国干渉（フランス・ドイツ・ロシア）

11月 レントゲン「X光線」発見

4月 アテネ五輪開催（第1回夏季オリンピック大会。6日から15日まで）

8月 フランスがマダガスカルの植民地化を宣言



▲第1回アテネオリンピック

6月 志賀潔が赤痢菌を発見する

12月 八幡製鉄所が竣工



▲八幡製鉄所

7月 米西戦争：サンティアゴ・デ・クーバの戦い。アメリカ海軍がスペイン艦隊を撃破しキューバ近海の制海権を獲得

12月 パリ講和条約により、スペインは、フィリピンをアメリカへ譲渡



▲就航中の病院船「博愛丸」:当時の病院船には負傷者にミルクや卵といった滋養食を提供するために、船内に乳牛や鶏を飼っていた記録もある



▲病院船「弘済丸」の普通病室



▲病院船「弘済丸」



▲中国天津兵站病院で患者を搬送する救援員(北清事変)



▲手縫いの赤十字旗

手縫いの赤十字旗

青森県佐井村出身の医師三上剛太郎は日露戦争時の明治38年1月満州へ軍医として従軍。仮救護所がロシア・コサック兵に包囲された際、三角巾と赤い毛布で作った「手縫いの赤十字旗」を掲げ、74人の命を救いました。

4月 病院船博愛丸が横浜に就航。弘済丸は6月に横浜に就航

4月 韓国京城に特別委員部を置く
日本赤十字社のあゆみ

7月 北清事変に対して、救援班1個班を広島に、博愛、弘済両病院船を大連に派遣

7月 ジュネーブ条約の原則を海戦に応用する条約を批准公布する

12月 日本赤十字社条例公布、社団法人の認可を受ける

1月 天災救護規則を制定(1911年に災害救護規則となる)

11月 主務官庁の認可を経て本社を社団法人とする

12月 日本赤十字社条例を發布する

12月 アンリー・デュナンが第1回のノーベル平和賞受賞

12月 佐野常民逝去

1899 明治32年

1900 明治33年

1901 明治34年

1902 明治35年

1903 明治36年

世界と日本の動き

7月 ボリビア領だったアクレ州が独立を宣言。後にブラジルが介入してアクレ紛争となり、アクレ州は1903年にブラジル領となる

7月 海戦のジュネーブ条約成立

6月 北清事変(〜01)

3月 衆議院議員選挙法改正。選挙権がそれまでの直接国税15円以上から10円以上に引き下げられる

9月 日本初の自動公衆電話が東京の新橋駅と上野駅、熊本市内に設置される

2月 八幡製鉄所操業開始

12月 ノーベル賞創設。アンリー・デュナンが第1回のノーベル平和賞受賞

12月 足尾銅山鉱毒事件について田中正造が明治天皇に直訴



▲足尾銅山

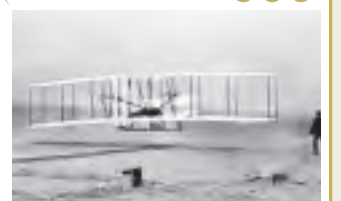
1月 日英同盟

5月 西インド諸島のプレー火山が噴火。死者32,000人

5月 キューバがアメリカ合衆国から独立

11月 米国がパナマ運河地帯の永久租借権を獲得する

12月 ライト兄弟が人類初の動力飛行に成功



▲ライト兄弟、飛行に成功



▲皇后陛下から下賜された義足を手にするロシアの負傷兵



▲佐世保病院で治療を受ける撃沈された戦艦リューリックの乗組員



▲アメリカ赤十字社ドクター・マッギー夫人一行、日本赤十字社京都支部訪問



▲日露戦争での救護活動



▲旅順病院

2月 日露戦争がおこり、臨時救護部を設置する

4月 米国のドクター・マッギー夫人一行横浜へ着く。日露戦争における陸軍傷病者の看護に従事するため、5月、広島予備病院へ出発する

日本赤十字社のあゆみ

1904 明治37年

世界と日本の動き

2月 日露戦争（～'05）

4月 日本で非常特別税法と煙草専売法が公布される

5月 国際サッカー連盟創立



▲日露戦争



▲ロシア赤十字社の救護員と記念写真に収まる救護員



▲当時のロシア赤十字社ならびにロシア軍病院長から日本赤十字社社長に対して贈られた感謝状を翻訳したもの

3月 ロシア傷病兵救護に対して、松方社長及び小沢副社長に露国赤十字記章が贈与される

1905 明治38年

1月 夏目漱石が「我が輩は猫である」を発表

9月 ポーツマス条約

10月 シベリア鉄道が開通



◀サンフランシスコ大震災。被災者のため、全国民に1円募金をよびかける



◀被災地サンフランシスコ



▲東北地方飢饉でアメリカから寄せられた義援金を配分

2月 日露戦争における救援事業に関して両陛下より勅語令旨を賜わる

2月 東北地方飢饉のため、米国「クリスチャン・ヘラルド」新聞社は義援金を募集し、本社に委託

4月 サンフランシスコ地震に救援金送金

5月 病院船に関する条約を批准公布する

6月 米領ハワイに特別委員会を設置する

1906 明治39年

3月 鉄道国有法が公布される。4月20日に施行

8月 ジュネーブ条約の改正

11月 南満州鉄道株式会社が設立される

1907 明治40年

3月 小学校令が改正され、義務教育が6年間となる

6月 日仏協約が調印される。清の独立・領土保全が約束され、両国の勢力範囲が確認される



▲江農地方激震被害



▲日本赤十字社旧社屋建築図



▲大正元年に竣工した日本赤十字社本社



▲昭憲皇太后

昭憲皇太后基金

赤十字の平時における事業推進のため、昭憲皇太后が国際赤十字に10万円を寄付され、この資金をもとに明治45年にワシントンで開催された第9回赤十字国際会議で昭憲皇太后基金の設置が決められました。赤十字国際委員会は1920年、昭憲皇太后基金規則を制定しました。これにより昭憲皇太后基金の配分は、元金を使用せず基金の利息のみを充当し、基金は、赤十字国際委員会3人と国際赤十字・赤新月社連盟3人の代表から成る合同委員会が管理し、毎年、昭憲皇太后のご命日である4月11日に、その利息を要望のあった赤十字社、赤新月社に配分することになりました。



▲日本赤十字社創立25周年（博愛社創設から35年）記念祝典錦絵

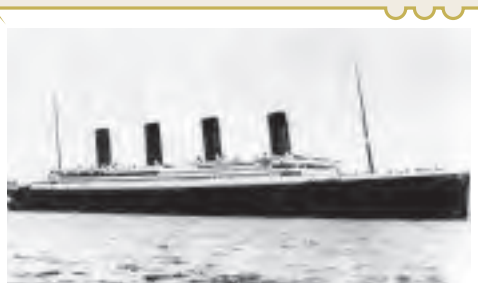


▲国産車初の救急車



▲東京水害救護所

6月 改正赤十字条約を公布する 11月 初めて東京支部常設救護所を設置 日本赤十字社のあゆみ	1月 イタリア震災救援金を募集 4月 改正商標法を公布し、赤十字記号等の濫用を禁止する 8月 江濃地方激震により滋賀支部が救護を実施	5月 改正日本赤十字社条例を公布する。これによって陸海軍の戦時衛生勤務幫助が救護事業の一部として確定された 6月 第18回通常総会を日比谷公園にて挙行、改正定款を決議し翌日から施行 9月 日本赤十字社病院規則を制定。乙種看護教程・看護婦生徒修身教授参考書刊行	1月 患者輸送教程刊行 4月 東京市大火 8月 トルコ赤新月社に火災救援金送金 9月 災害救護規則を制定し、天災救護規程・臨時救護規程を廃止 11月 中国擾乱に際し、漢口日本租界に救護班派遣	1月 大阪市難波新地で大火、5,000戸焼失。大阪支部は救護班4個班を派遣 1月 改正赤十字条約の原則を海戦に応用する条約・改正陸戦の法規慣例に関する条約を公布 5月 皇后陛下から赤十字国際委員会に平時事業奨励基金（のちの昭憲皇太后基金）として10万円をご下賜 9月 日本赤十字社新社屋完成（現在の東京都港区芝大門）	1月 結核予防撲滅に関して、諮問会を開く 3月 赤十字国際委員会を通じて、バルカン交戦地に3,000フラン送金

1908 明治41年	1909 明治42年	1910 明治43年	1911 明治44年	1912 明治45年～大正元年	1913 大正2年
世界と日本の動き 4月 第1回ブラジル移民を乗せた笠戸丸が神戸港を出港 10月 オーストリア・ハンガリー帝国がボスニアとヘルツェゴヴィナを併合	6月 両国国技館が落成 9月 満州及び間島に関する日清協約が調印される 10月 伊藤博文が満州で暗殺される	8月 日韓併合条約が調印される（韓国併合） 8月 フローレンス・ナイチンゲール死去 10月 アンリー・デュナン死去	2月 日米新通商航海条約が調印され、日本の関税自主権が回復される（小村寿太郎） 11月 外モンゴル（現在のモンゴル国）が清から独立宣言	2月 中国で愛新覚羅溥儀が清朝皇帝を退位し、清が滅亡する 4月 タイタニック号沈没 5月 第5回ストックホルムオリンピックに日本初参加 7月 元号が明治から大正に改元される  ▲第5回ストックホルムオリンピック  ▲タイタニック号	10月 日本政府が中華民国を承認する 12月 チベットとモンゴルが「チベット・モンゴル相互承認条約」を締結